

本年度の役職：吹田市議会副議長、建設委員会委員

ごあいさつ

2 期目の活動がスタートしました。皆様のおかげで 2 3 年度は吹田市議会の副議長を務めて頂くことになりました。大役ではありますが、議会の代表に恥じぬ活動を心がけてまいります。

1 期 4 年の政治活動や市長選挙を通してより広く、また深く政治が見えるようになり、危機感や焦燥感が高まるばかりです。そうした想いを己

の胆力に変えて、新市長の政策がより良い方向へと進んで行くチェックをすることを一つの重点課題とし、吹田市のため、そして日本のために働いて参る所存です。

石川前議員が議会におられなくなった分も私が新人を率いて踏ん張ります。今期も御指導よろしくお願い致します。



神谷 宗幣
カミヤ ソウヘイ

1977 年福井県生まれ。福井県立若狭高校、関西大学文学部、関西大学法科大学院卒業（法務博士号取得）。大学時代の海外生活で、「日本の若者の意識を変えなければ、この国の将来が危ない」と危機感を抱き、日本の教育改革を目標に政治家を志す。食品スーパー店長、高校教師を経て、29 歳で吹田市議に初当選。現在 2 期目。予備自衛官。龍馬プロジェクト全国会会長。

【連絡先】吹田市千里山西1-37-40
かみやソウヘイ事務所

TEL : 090-6059-8330 FAX : 06-6385-1239
Mail : info@kamiyasouhei.jp

<http://www.kamiyasouhei.jp>

本年度の役職：議会運営委員会副委員長、文教市民委員会委員、市民病院の在り方特別委員会委員

ごあいさつ

多くの方々のご支援を賜り吹田市議会議員となることができました。皆さまのご期待を一身に受け止め活動して参ります。

吹田市議会議員としての任期が5月27日より始まり、6月の臨時会で役職が決まりました。私は 1 期目にも関わらず、議会の運営はもとより、新市長からの提案をしっかりとチェックできる議会運営委員会の副委員長という重役を任せて頂きました。まちづく

に対するビジョンや希望をもち、市長の政策をチェックするとともに、政策立案も積極的に行う議会活動をして参ります。

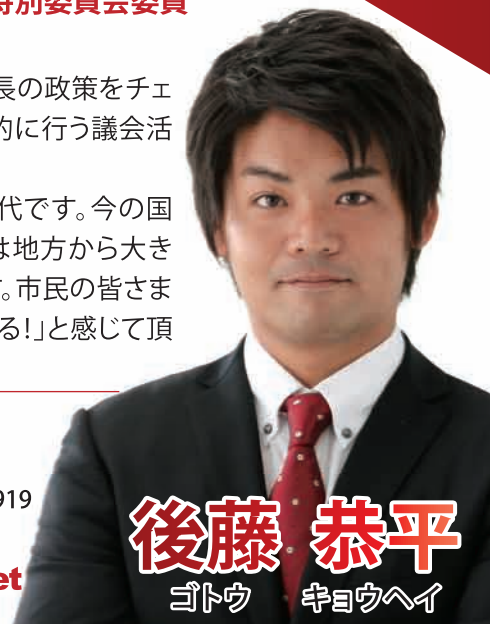
これからは地方政治が重要な時代です。今の国政の混乱、政治不信を払拭するには地方から大きな声をあげ行動することが必要です。市民の皆さまが「この政治なら将来に期待が持てる!」と感じて頂ける活動を目指します!

1980 年 10 月 20 日生まれ、吹田市育ち。吹田市立片山中学・大阪府立摂津高校・大阪工業大学工学部卒業。幼い頃に父と別れ母子家庭で育つ中、様々な思いを持つ。現在は GOTO ハウジング代表・後藤土地家屋調査士事務所代表・(株)後藤測量事務所代表取締役・関西大学非常勤講師。真に人々が自立し、支え合える豊かな社会を目指し活動中。

【連絡先】吹田市西の庄町2-28
ごとうキョウヘイ事務所

TEL : 06-6380-8802 FAX : 06-6310-8919
Mail : info@goto-kyohei.net

<http://www.goto-kyohei.net>



後藤 恭平
ゴトウ キョウヘイ

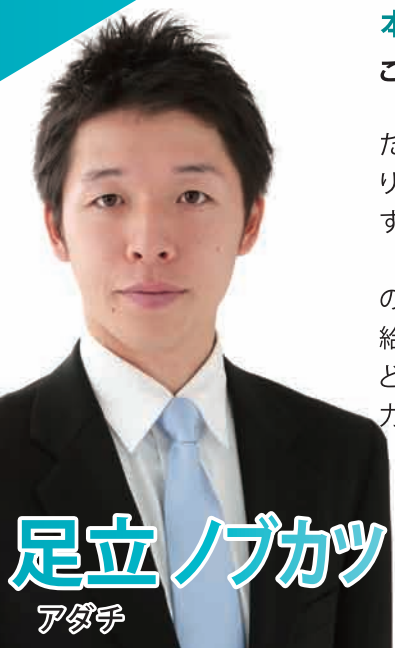
本年度の役職：財政総務委員会委員・都市環境防災委員会副委員長

ごあいさつ

皆様の温かいご支援に支えられ、無事当選を果たすことができました。頂きましたご期待にしっかりと応えるよう、また20代の責任をしっかりと果たすよう活動してまいります。

私は「子供にツケをまわさない」を信条に、吹田の豊かな財政を市の発展にいかすために、公務員給与と体系の見直しや、公共施設のマネジメントなど財政問題を中心に吹田の発展に寄与できるよう力を尽くしてまいります。

また、市長選挙における吹田新選会の公約であった、「吹田を日本一の町に」を実現するため議員としてできるすべてを行う所存です。私に頂きました 1 9 3 1 名のご期待だけでなく石川前市議に頂きました 1 6 5 2 4 名の想いを胸に市長選挙における吹田新選会の公約であった、「吹田を日本一の町に」を実現するため議員としてできるすべてを行う所存です。皆様方のご指導・ご鞭撻をよろしくお願い致します。



足立 ノブカツ
アダチ

1985 年、大阪市福島区生まれ。大阪桐蔭中学／高等学校・神戸大学法学部卒・不動産会社勤務。大学卒業直前に神谷宗幣議員・石川前議員と出会うことで政治へのあきらめが払拭され、地方政治から日本の政治が変わると実感する。吹田から日本の政治改革を目指し、25 歳で出馬し初当選。

【連絡先】吹田市南金田1-4-11
足立ノブカツ事務所

TEL : 06-6339-6839 FAX : 06-6339-6869
Mail : nobukatsu.adachi@gmail.com

<http://ameblo.jp/nobukatsu-adachi>

(1) 教育

これからの日本には、世界で活躍できる**国際競争力**のある人材が必要です。学力向上はもちろん、「**智・徳・体**」のバランスを重視した**教育システム**をつくり、将来的に**世界で活躍**する日本人を吹田市からたくさん輩出することを目指します。

(2) 行財政の見直し

市業務の効率化・IT化と市職員の給与体系の見直しを進めるとともに、民間に委託できる業務の積極的な**民間委託**を提案することで、**市財政の健全化**を目指します。

財政計画に不可欠な公共施設の維持・修繕・建替・新築計画を、部課の縦割りを排して市全体として策定することを求めることで、今後必要な支出を明らかにし、**財政負担を子供の世代に過剰に先送り**させないとともに事業の選択と集中の判断を容易にできるような環境を整えます。

(3) 見える政治

地方議員不要論も飛び出す中、議会ごとの通信発行、街頭活動やネットでの活動報告を通じて、我々議員の活動の**見える化**を進めます。また議会の**インターネット中継**の実現や、市民の皆さんが聞いていて分かる議会質問の**一問一答形式の導入**を目指し、政治と皆さんの距離を縮められるよう尽力します。

6月臨時議会での主な案件

案件 1：市長の給料 30%カット

新選会の判断 … 趣旨に賛同。しかし継続審議すべき。

理由：財政非常事態宣言に続いての市長だけの給料カットはそれぞれ算出根拠が明確でなく、パフォーマンス的要素が強い。公約に沿うのであれば、職員や理事者の給料削減案とセットで提案すべき。また、府議時代の不透明なお金の流れが気になる。表面的に給料を下げて裏でお金を集めるようでは本末転倒。クリーンな政治を証明してから率先垂範して頂きたい。

結果：継続審議

案件 2：二人の副市長の選任

新選会の判断 … 二人とも選任に反対

理由：新市長からの依頼があったとしても、先ごろまで阪口前市長の政策の正当性を切々と語っていたお二人が、その政策を否定して当選された新市長の下、前言撤回で新しい政策を語っても説得力がない。副市長ともなれば、市長の政策を鵜呑みにして語るだけでなく、ご自分の意思で時には市長にも意見しながら政策を進めて頂きたいし、今までもそうしてこられたと思っていた。また、「チェンジ!」を掲げて当選された新市長には、人事面でも「チェンジ」をはかり、市政の一新を期待したい。

結果：多数決により2名とも副市長に選任

新選会からのご挨拶 ～『公に尽くす』政治～

吹田新選会は、結成5年目を迎え、メンバーは3人となりました。議会内では会派『**みんなの未来**』の**山口議員**(47) **榎内議員**(32)とともに5人のチームで活動をして参ります。



山口議員



榎内議員

我々5人の中には25歳、30歳、32歳、33歳と議会の中で年少の4人がおります。よって我々は、高齢者、壮年者の声だけでなく、やはり若い世代、子育て世代の声を議会に届ける大きな責任があると考えております。

そして、目先の問題だけでなく、10年後、20年後の吹田のまちのビジョンをしっかりと描き、損得や票のためでない『**公に尽くす**』政治を行い、市民の皆様の信託に応えて参る所存です。経験の浅い3人ではありますが、御指導、御鞭撻よろしくお願い致します。